

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	びゅあてい		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 2人
○従業員評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 14日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休みの活動に力を入れており、子どもたちが様々な経験・体験を通じて社会性を学べるように支援しています。	子どもたちが楽しく取り組めるよう、現地の下見を行ったり、活動の内容に変化を取り入れ楽しく活動できるように工夫しています。	活動内容を事前に保護者の方に伝えて、詳細な対応方法などの共有を図りたいと思います。
2	子ども一人ひとりの状態やペースに合わせ、多様なプログラムを提供し最適な支援を行えるように努めています。	複数の指導員が子どもたちの様子を確認し、支援方法を随時相談・見直することで質の高いサポートを提供しています。	子ども一人ひとりの興味や課題に合わせた療育グッズを充実させていきたいと思います。
3	送迎時の急な変更など、予定とは異なった場合でも柔軟に対応できるよう、職員間、及び保護者の方と連携し情報を共有しています。	子どもたちの状態等について、保護者の方と常に連携を図っています。また、びゅあていでの活動の際に気が付いたことは、すみやかに保護者の方へ共有するようにしています。	さらに、職員間、及び保護者の方と連携できるよう、ICTを上手に活用していきたいと思います。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害対応等の緊急時マニュアルは整っており、訓練も行っているが、実際に災害が起こり緊急事態が発生した際に、よりスムーズに全従業員が対応できるよう周知と訓練を行っていくことが必要だと考えています。	緊急時マニュアルは情報量が多く、事故対応や災害時などの緊急事態の際、スムーズな対応ができない可能性がある。	全従業員が、より手順を分かりやすくするためにフローチャートの整備や、訓練が必要だと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		びゅあてい					公表日			2025年	4月	1日
							利用児童数	3人		回収数 2人 (66%)		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				・ 広々しています。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2				・ とても手厚く対応してくれるので助かっています。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				・ 子どもがどこにいても目の届く環境だと思います。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				・ 人数により空気入替や消毒を行っていると感じているので過ごしやすい環境だと思います。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				・ こちらが気づいていないようなことを気づかせてくれたり、その対応方法も教えてくれます。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				・ 合っていると思います。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				・ びゅあていの中や、送迎の際などに丁寧に説明してくれます。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2									
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2									
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				・ 毎日色々なレクリエーションを行うなど工夫されていると思います。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1			・ 会館で違う地域の子どもたちと活動するなど楽しい行事に参加させてもらっている。	ありがとうございます。保護者の方のご希望を聞きながら他所との交流を考えていきます。				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2									
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				・ 職員の方が分かりやすく説明してくれます。不安なときは相談にのってくれます。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				・ L I N Eや電話で逐一報告ができるので助かっています。	ご希望があれば、その都度お話しさせていただきます。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2				・ 相談したいことを伝えると、日程も調整してくださるので、働いていても面談できるのはうれしいです。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				・ 子どもの事を理解したうえで相談にのってくれます。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2									
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2									

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2				・楽しみにしています。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				・ブログなどでも配慮されているとおもいます。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				・定期的に訓練を行っていると考えています。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				・毎回内容が工夫されているように思います。	年に2回以上の訓練を行っています。保護者の方に十分な告知を心がけています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					保護者の方に十分な告知を心がけます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			1	・事故やケガをしたことがないので、分からないを選択しました。	ありがとうございます。何かありましたらご相談ください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				・通所日以外でもびゅあていきたいという事があるくらい大好きな場所です。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				・毎回とても楽しみにしています。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				・息子の成長を実感しています。 ・とても満足しています。 ・先生には相談しやすく話しやすいです。	ありがとうございます。これからもよりよい事業所を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日2025年4月1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		特性やその時の利用人数等を考慮し、密になることの無いよう柔軟に環境設定している。また、目的に合わせパーティションで仕切り活動を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		定員数やこどもの特性に合わせた職員配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		活動スペースを分け、視界から適切に情報が得られるように掲示の量や配置を工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日適切な掃除・消毒を行っている。床面をタイルカーペットに取り換え怪我防止につとめ、必要に応じて新品と交換している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		ロールカーテンやパーティションを使いクールダウンの場所を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		外部研修や合同研修を行っています。また毎日のミーティングや月に1回～2回会議を行い都度子供たちの状態に合わせ話し合いの場を積極的に作っている。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表の結果をもとに、事業所内で話し合い業務改善につなげている。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		管理者との距離を適度に保ち、職員からの意見等把握に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者委員会などは設けていないが、関係者の方々からご意見をいただき改善に努めている。	第三者による外部評価を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	外部研修や合同研修を行っている。また、動画視聴などにより学びの場を設けている。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		プログラム内容はホームページに掲載している。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		本人また保護者様の願い、兄弟間やご家庭での困りごとなどをアセスメントし計画作成につなげている。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画見直しの前月に、療育に対する個別支援会議を開催し職員間での情報共有を行っている。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別目標計画シートに半年間の目標を記載し、常時職員間で共有できるように工夫している。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		多方面からのツールを用いてアセスメントを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ご家族様のニーズを踏まえ、個々の発達段階に合わせ支援内容の設定をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		立案・作成を複数の職員で行っている。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節の行事を取り入れ楽しく参加できるよう計画したり、利用児童の年齢や特性に応じ、環境や内容等を考慮し工夫している。また、職員間で意見交換を行いマンネリ化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		毎日、各活動の組み合わせや担当を考え計画・作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日、送迎前に留意事項や活動内容の説明等を行っている。また担当や役割を決め支援している。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	ミーティングやラインを活用した打ち合わせの時間を作っている。記録表の記入とともに、その日の振り返りを行っている。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やせるようにしていきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		細かな療育記録を徹底している。ファイルにまとめ職員間で常に共通認識をもち、適切な支援につなげている。	振り返りも含め、追記し職員間で共有できるように、進めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年毎にアセスメント・モニタリングを行い、計画の更新を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者、児童発達管理者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		幼稚園や保育園、利用施設と連携を取り、情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		支援の様子などの見学に対応したりスムーズな移行の為、必要な情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者様の同意のもと、書面での情報共有や訪問などによる支援会議を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7		定期的な研修会の開催等参加し、また日々の療育にも助言を頂いている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域の催し物に参加したり、保育園の行事を見学させていただくなどの機会を設けている。	他所との交流は保護者の方の希望をお聞きしながら検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノートやライン、送迎時を利用し日々の様子や療育内容をお伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		定期的な研修やイベントの開催により職員との交流、情報提供の機会を設けている。	定期的な研修やイベントの開催により職員との交流の機会を設けています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明と同意を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的な面談及び日々の連絡や相談により 保護者様から聞き取りを行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		半年ごとの計画見直しの際、説明と同意を得た上で計画作成を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時、連絡ノート、LINE、面談等で相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		デイキャンプなどイベントを開催し、保護者さま参加のもと交流を深める機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		重要事項説明書に苦情の受付について記載している。初動は丁寧・迅速に行うよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		管理者、代表が迅速な対応を行い、事業所全体で周知するとともに改善に向けての取り組みを行っている。	情報発信について検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		HPでのブログ掲載時には、個人情報漏洩がないよう細部にわたってWチェックの上行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		ラインや連絡ノートを活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域住民とともに活動できるイベントを考え、実現できるようにしていきたい。	保護者の方の要望をお伺いしながら検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを策定しており、避難場所、避難経路を保護者様に伝えている。避難訓練も地震、火災等各災害を想定して実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練をレクリエーションに取り入れ、避難を想定した訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2	面談時に健康面についてうかがい、必要時は診断書のコピーやお薬の情報をいただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		診断書のコピーをもとに、アレルギー反応があった場合の対応方法を詳しく伺い、職員間で共有している。	保護者の方からの情報をもとに対応を行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画をもとに、安全を第一に考え支援している。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		ブログによる更新や資料配布によりご家族へ周知している。また、指定避難場所及び、連絡方法確認を周知している。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット報告書を作成し職員間で常に共有し、再発防止につなげている。	職員にも分かりやすく情報を共有します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修会を定期的に開催し、職員の虐待への知識、理解を高めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		緊急性、一時性、非代替性の視点によりやむを得ない場合の対応については、計画に盛り込みご家族に説明と同意をいただいている。	